

(仮称)第2期すくすく大分っ子プラン(案)の市民意見公募に寄せられた意見とそれに対する本市の考え方について

1. 受付期間：令和元年12月18日(水)～令和2年1月17日(金)

2. 受付人数 2人

3. 意見総数 3件※寄せられたご意見については要約しております。

意見	市の考え方
<p>保育士不足(人員確保の困難)や政府が推進している働き方改革で、保育提供にもかなり影響が出ていると思います。市側が率先して保育施設への負担軽減を行ってはいかがでしょうか。例えば、幼児をもつ職員によるお迎えの促進(勤務時間の短縮)や土曜は保育施設に子どもを預けずに、可能な限り家族で過ごすなどです。子どもと過ごす時間も増やせるので、良いのではないのでしょうか。</p>	<p>全国的な傾向と同様、本市においても保育士確保に苦慮している保育施設が見受けられており、働き方改革の推進など、保育現場の負担軽減は重要な課題と考えており、いただいたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>なお、本市では、保育施設における保育士確保を支援するため、保育士を目指している学生等に対し保育施設の特色や魅力などを発信する「保育のしごとセミナー」の開催や、県外の保育士養成施設に通う大分県出身の学生に対しUターン就職を促しています。さらに、保育現場から遠ざかっている潜在保育士や未経験者が円滑に保育現場に勤務できるよう、公立保育所で実際に保育を体験してもらい取り組みなども実施しています。</p> <p>今後とも、保育士確保支援などを通じて保育士が働きやすい環境づくりに向け取り組んでまいります。</p>
<p>認可保育施設では定期的な外部の勉強会などに参加して積極的に教育・保育の質の向上に努めていると思います。人員配置やその他の問題で、外部の勉強会などに職員を派遣できない保育施設に対しては、今後、市側のフォローが必要になるのではないのでしょうか。</p>	<p>本市では、幼児教育・保育の質の向上に向けて保育士の専門性の向上と保育現場におけるリーダー的な職員の育成を図るための研修や、保育施設で助言・指導を行う「保育所等巡回支援事業」を行っています。</p> <p>保育士確保が課題となる中、研修等に職員を派遣するのが困難な状況については、保育士確保に向けた支援策の充実を図るとともに、巡回訪問の際に、園内研修の推進に向けて活用できる資料の提供や効果的な研修方法の助言を行うなどにより、さらなる保育の質の向上と人材育成に努めてまいります。</p>

意見	市の考え方
<p>第 1 部総論部分が、現行計画と比べてあまり変わっていないように感じました。特に、「1. 計画策定の背景と趣旨」について、最近の国における子育て支援の取り組みの記述が少ないように思います。</p> <p>例えば、平成 28 年 6 月には「ニッポン一億総活躍プラン」が策定され、「希望出生率 1.8」の実現に向けた対応策が示されたことや、平成 29 年 6 月に公表された「子育て安心プラン」では、女性就業率 80%にも対応できる保育の受け皿を整備すること、同年 12 月の「新しい経済政策パッケージ」では、子育て世代、子どもたちに大胆に政策資源を投入することとされ、令和元年 10 月から幼児教育・保育の無償化を実施することなどの記載があってもよいと思います。</p> <p>さらには、子どもの貧困対策については、平成 26 年 1 月に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行され、同年 8 月の「子供の貧困対策に関する大綱」により、子どもの権利の尊重や教育の機会均等の保障、保護者の所得の増大や職業生活の安定と向上等に必要な施策を講じることが明記され、生まれ育った環境で子どもの現在と将来が左右されないよう規定されたことがあっていいと思います。</p>	<p>「計画策定の背景と趣旨」においては、現行計画策定後の国や市の取組など主なものについて加筆いたしました。</p>